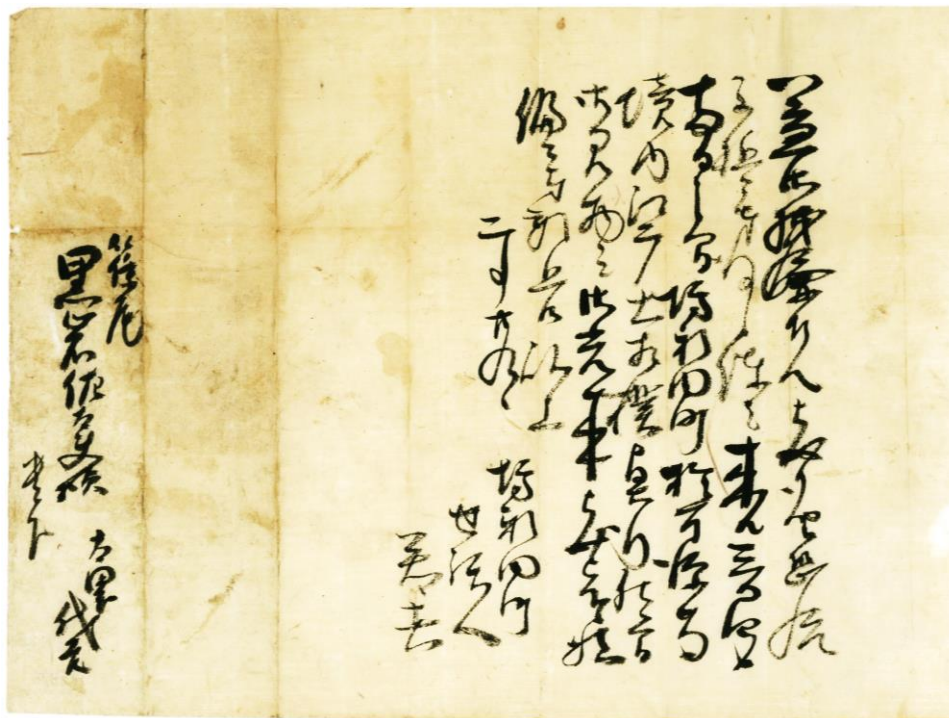




②〔江戸大相撲興行見物案内に付書状〕

2月29日

原本：縦 25.0cm×横 31.0 cm

江戸相撲は、地方巡業を行って各地で人気を博しました。興行は寺社が開催場所となり、地元の草力士も試合に出場するなど活況を呈しました。

本史料は、坊新田町^{ぼうしんでんまち}(沼田市)の若者が世話人となって催された江戸相撲の興行案内です。太田屋代吉^{やかたばら}という者から、屋形原村(沼田市)の黒岩佐太夫へ案内が届けられました。【②】の相撲図は、この時の興行で得

たものかもしれません。

沼田市屋形原町 黒岩英夫家文書

P8311・No.5626



【②】〔江戸大相撲興行見物案内に付書状〕

〔釈文〕

益御機嫌克被^レ成^ニ御座^一、恐悦
至極^ニ奉^レ存候、陳^者来ル三日・四日
兩日之間、坊新田町於^ニ了源寺^一
境内江戸大相撲興行仕候間、
御見物之御光来被^レ成被^レ下候様
偏^ニ奉^ニ願上^一候、以上

二月廿九日

坊新田町

世話人

若者

篠尾

黒岩佐太夫様

太田屋

貴下

代吉

(沼田市屋形原町 黒岩英夫家文書

P8311・No.5626)